

令和 7 年度予算編成方針

1 社会経済情勢、国・地方の財政運営の現状と見通し

国は、8 月の月例経済報告で、「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」と基調判断を 1 年 3 か月ぶりに引き上げ、先行きについて「雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される」とした。その一方で、留意すべき点として、欧米での高い金利水準の継続などの影響を受けた海外景気の下振れのほか、「物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある」との認識をあわせて示した。

このような中、本年 6 月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2024」、いわゆる「骨太の方針」では、物価上昇を上回る賃金上昇の達成及び定着と、グリーン、デジタル、科学技術・イノベーション、フロンティアの開拓、経済・エネルギー安全保障等の分野における、長期的視点に立った戦略的な投資の実行により、経済全体の生産性を高め、「成長型の新たな経済ステージ」へと移行させるとともに、人口減少が本格化する 2030 年度までを経済構造への変革を起こすラストチャンスと捉え、同年度までの 6 年間を計画期間とする「経済・財政新生計画」を定めた一方、財政健全化に関しては、2025 年度の国・地方を合わせたプライマリーバランス黒字化を目指すとともに、2025 年度から 2027 年度までの 3 年間の予算編成において、これまでの歳出改革努力を継続することとした。

また、地方財政にあっては、経済の好循環を地域の隅々まで行き渡らせるとともに、地域ごとに異なる将来の人口動態を念頭に、地方公共団体が人手不足やインフラ老朽化等の資源制約に対応し、持続可能な形で行政サービスを提供していくため、一般財源の総額について、2024 年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保して、地域における賃金と物価の好循環の実現を支える地方行財政基盤の持続性を確保・強化することとした。

この方針に基づき、令和 7 年度国家予算の概算要求は、歳出全般にわたり、施策の優先順位を洗い直し、予算の中身を大胆に重点化するなど、歳出改革の取組を進める一方、成長と分配の好循環を拡大させる、持続的・構造的賃上げの実現やこども政策の抜本的強化、物価高騰対策などの重要な政策について、昨年度と同様に重要政策推進枠での措置とした結果、各省庁の概算要求総額（一般会計）は、117 兆 6,059 億円となり、ここに金額を定めない事項要求も加わり、過去最大の規模となった。

一方、県では、令和 5 年 10 月に「行財政基本方針」を策定し、今後も重点施策の積極的な推進とあわせて、事業の再構築に不断に取り組むこととしている。

こうした国や県の今後の動向に注視しつつ、当市の令和 7 年度に向けた予算編成に的確に反映していく必要がある。

2 市の財政状況及び直面する課題

令和6年度の当市の財政状況を概観すると、この間、市債の繰上償還に取り組むとともに、償還を上回る借入とならないよう留意して財政運営を行ってきた結果、市債残高は着実に減少しており、令和5年度決算における健全化判断比率も警戒ラインである早期健全化基準を下回って推移している。また、市税や地方交付税を始めとした一般財源収入は計画的に確保できている状況にある。

一方、長期化する物価高騰や、猛暑、渇水、大雨、地震など度重なる自然災害に対し、必要な支援、対策を講じるために臨時的な財政出動を行ってきた結果、財政調整基金残高は財政計画における見込額を下回っており、さらに、行政経費に目を向けると、賃上げや資材価格の高騰などに伴い、人件費や物件費、工事請負費を始めとした、あらゆる経費の増加への対応が喫緊の課題として直面しており、今後の財政運営は厳しさを増している状況にある。

第3次財政計画では、今後8年間の財政運営について、財源不足が生じた際に財政調整基金を活用しつつも、基礎的な行政サービスを行う経費のほか、投資的経費をしっかりと確保した上で、公債費に係る各指標の改善を図るなど、これまでの健全財政を維持する見通しとしているが、計画策定時には予見できなかった財政圧迫要因に立ち向かうこととなった今、当市が置かれている財政状況を踏まえると、財政調整基金の取り崩しを最小限に抑制した財政運営の確立を急がなければ、政策の推進と健全財政の維持の両立は難しい状況となっている。

こうした基本認識の下、人口減少を始め、社会の変化に伴う様々な課題に対応した持続可能なまちの形成に向け、第7次総合計画及び令和7年度を始期とする次期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取組を推進していくためには、国県補助金を始めとした特定財源の獲得を始め、事業の合理化や、運用・手法の工夫・改善による経費の縮減など、第7次行政改革推進計画における「歳入の確保」と「歳出の適正化」の取組をより一層強力に進めながら、事業効果を発現させる必要がある。

令和7年度の当初予算の編成に当たっては、目指すまちづくりの着実な推進とともに、基礎的な行政サービスの確保・充実に引き続き取り組むが、経常経費を中心とした歳出の増加が今後も継続することを見据え、職員一人ひとりが高い意識を持って、あらゆる方法により既存事業の改善や見直し、廃止に果敢に取り組むなど、これまで以上の創意工夫により政策推進の原資を生み出し、限られた経営資源を効率的・効果的に活用する必要がある。

3 予算編成の基本方針

(1) 基本方針

上記 1、2 を踏まえ、令和 7 年度予算の編成においては、以下の基本方針を掲げ、その反映と徹底を図る。

予算原案の立案に当たっては、組織を挙げて職員の英知を結集し、それぞれの職責の下、最善を尽くすことを指示する。

- ① 第7次総合計画に基づき、「暮らしやすく、希望あふれるまち 上越」の実現に向けた取組を着実に推進するとともに、一層厳しさを増す人口減少に対し、その傾向の緩和と、人口減少社会でも持続可能なまちの形成を目指し、次期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取組を進める。
- ② 第7次行政改革推進計画の取組を着実に推進し、限られた経営資源を効率的・効果的に活用することにより、基礎的な行政サービスの確保・充実と政策推進を両立する。
- ③ 長期的な経常経費を中心とした行政経費の増加を見据え、歳出の適正化に徹底して取り組む。
- ④ 公の施設の適正配置計画及び長寿命化計画基本方針に基づく施設別維持管理計画等で位置付ける取組を確実に実施する。
- ⑤ 要求額は、別に示す令和7年度財政計画（一般財源ベース）の範囲内とする。
なお、各部局で計画の範囲内に収めた場合であっても、計画策定時と比較して人件費が上昇しているため、要求総額が計画額を超過する状況は十分想定される。徹底した効率化や選択と集中により、経費縮減に確実に取り組むこととする。

(2) 第 7 次総合計画に位置付ける政策・施策の推進

将来都市像「暮らしやすく、希望あふれるまち 上越」を実現するため、「5 つの基本目標」に基づく各政策・施策を着実に推進すること。

また、令和 7 年度は前期 4 年間の計画の 3 年目として、取組を一層加速させるため、各施策のありたい姿や目標、課題等を踏まえ、適宜、事業の改善・見直しを行うこと。

さらに、重要課題である人口減少・少子高齢化の進行や社会潮流の変化に対応するため、「4つの重点テーマ」に関連する施策・事業を横断的かつ重点的に展開し、相乗効果を最大限発揮させること。

1) 基本理念

上越市ならではの快適で幸せな暮らしの実現

～生きる力を備えたまちづくり・ひとづくり～

2) 将来都市像

暮らしやすく、希望あふれるまち 上越

3) 5つの基本目標

- ① 支え合い、生き生きと暮らせるまち
- ② 安心安全、快適で開かれたまち
- ③ 誰もが活躍できるまち
- ④ 魅力と活力があふれるまち
- ⑤ 次代を担うひとを育むまち

4) 4つの重点テーマ

重点テーマと取組の例	
活動人口の創出（ヒューマン） ・ 学びを基軸としたひとづくりの推進 ・ シビックプライドの醸成 ・ 多様な交流の促進 等	地域活力の創造（コミュニティ） ・ コミュニティ活動の活性化 ・ 地域の魅力と価値の向上 ・ 暮らしの質を高める基盤の強化 等
地域DXの推進（デジタル） ・ DX人材の育成 ・ 官民DXの推進 ・ IT企業等の誘致・育成 ・ 推進に向けた環境づくり 等	脱炭素社会の形成（グリーン） ・ 化石燃料からのエネルギーシフトの推進 ・ 脱炭素型ライフスタイルの推進 ・ 分散型エネルギー、脱炭素社会に対応したまちづくりの推進 等

(3) 次期まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に位置付ける施策の推進

- ① 当市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の全体目標「若者・子育て世代にとって『選ばれるまち』『住み続けたいまち』の実現」に向けて、産・官・学・金・労・民の連携・協働による、本戦略に基づく事業を着実に実施すること。
- ② 令和7年度は現在策定を進めている次期戦略の初年度となることから、4つの政策分野別の基本目標や取組の課題等を踏まえ、必要な事業について一層の精査・改善を図り、着実に推進すること。
- ③ 特に、次期総合戦略（案）における 5つの強化の視点及び社会潮流の変化を踏まえ、人口減少の緩和と持続可能なまちの形成に向けて、それぞれの施策がどのように貢献していくかしっかりと認識した上で、官民連携かつ分野横断的な施策を継続的に展開していくこと。

※次期総合戦略の内容は現在策定中の内容

次期 上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の概要

1) 全体目標

若者・子育て世代にとって「選ばれるまち」「住み続けたいまち」の実現

2) 4つの政策分野

①しごとづくり

基本目標「安定的で魅力ある雇用を創出する」

②結婚・出産・子育て

基本目標「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境を整える」

③まちの活性化

基本目標「時代に合った地域を形成し、地域間連携を活発化させる」

④U I J ターンとまちの拠点性・担い手づくり

基本目標「多様な人の流れやまちを担う人を創出する」

3) 次期総合戦略における5つの強化の視点（下記を参照）

①若者への取組の強化：若い世代を対象とした施策や、人材育成・確保

②デジタルを活用した課題解決：デジタル技術の活用やデジタル化社会への対応

③訴求力の高い情報発信：市内外への情報発信の強化と実感の向上

④マッチングの強化：人や団体の引き合わせ、主体間での連携の促進

⑤人口減少社会への適応策の強化：人口減少社会にあっても持続可能な社会の形成

【次期総合戦略における5つの強化の視点と社会潮流への対応（案）】

分野 強化の視点	しごとづくり	結婚・出産・ 子育て	まちの活性化	U I J ターンと まちの拠点性・ 担い手づくり
①若者への取組の強化	高校生等と企業の接点の拡大	若者同士の交流機会の創出	若者団体がチャレンジしやすい環境づくり、相互の交流促進	
②デジタルを活用した課題解決	企業のDX化の推進	デジタルを活用した、手続の利便性向上とマッチング	デジタルを活用した地域の課題解決と交流促進	
③訴求力の高い情報発信	市内企業の魅力発信の強化	子育てに係る情報や子育て環境の発信の強化	まちの資源や魅力に応じたPR戦略の強化	当市への関心、移住につなげる魅力発信
④マッチングの強化	求人と求職のマッチングの強化	若者同士の自然な出会いの場づくり	地域課題と取組主体のマッチング	当市の資源を活かした多様な関係人口の創出
⑤人口減少社会への適応策の強化	人材育成・就労支援の促進	減少する児童・生徒数を見越した保育・教育環境の確保	地域の課題に対応していく人材や体制の確保	
⑥その他 (社会潮流への対応)	脱炭素化の推進 外国人市民との共生			

(4) その他の留意点

予算編成の原則（総計予算、通年予算、会計年度独立の原則、財源確保など）を遵守するとともに、以下の留意点及び別途通知する予算編成要領により予算要求を行うこと。

（歳入の確保）

- 国・県の補助金等については、当市の施策との合致を前提に積極的に活用し、最大限の財源確保を図ること。
- 特定財源を充当する継続事業は、当該特定財源が確実に得られるよう取り組むこと。なお、当該特定財源が減少又は失われる見込みとなり、代替財源の確保も叶わない場合は事業の一時休止等を検討すること。
- 各省庁の概算要求や県の動向（行財政基本方針に基づく具体の対応等）を把握し、的確に予算要求に反映させること。予算要求後において制度変更等の詳細が明らかとなった場合は、別途対応を行う。

（歳出の適正化と事業改善）

- 行政経費が増加している状況を踏まえ、漫然と同じ取組を継続することなく、対象、数量、単価などの精査を確実にを行うとともに、抜本的な見直しも検討すること。
- P D C Aの結果（決算認定における事業成果及び課題等の説明）に即し、既存事業の改善や見直し、廃止に果敢に取り組むこと。また、継続事業にあっては、工夫・改善の徹底により経費の縮減を図りつつ、より一層の事業効果を発揮する見直しを行うこと。
- 職員数の減少を踏まえ、限られた人員の中でも事業が実施できるよう、業務量の削減を推進するとともに、デジタル技術を活用した事業の効率化なども含め、トータルで経営資源の削減・有効活用につながるよう積極的に見直しを行うこと。
- 事業の立案に当たっては、これまでの視察研修等で得た知見を最大限発揮すること。
- 相互に関連する事務事業については、関係部・課、総合事務所等において十分な協議・調整を行うこと。

（市民等からの要望及び指摘事項、地域課題等への対応）

- 市民要望等については、その事業の必要性、緊急性等を十分に検討し、実現可能性を慎重に判断した上で、予算要求を行うこと。
- 地域の課題解決や活力向上を図るため、地域の声・実情をしっかりと捉えながら、実効性のある取組を立案し、予算要求に反映すること。
- 議会及び監査委員からの意見や指摘事項などについては、その主旨を踏まえた所要の対応を協議の上、予算要求に反映させること。

- 物価高騰を受けた支援は、国の財源措置の動向を踏まえて必要性を判断した上で、予算要求に反映すること。

各部、各区、各課等においては、これらを踏まえた上で事業内容を精査し、それぞれの部内及び部局横断的に十分な協議を行い要求すること。

以上